



平成28年度小国町総合防災訓練に参加しました

飯豊山系砂防事務所

10月2日(日)、小国町小国小坂地区で開催された「平成28年度 小国町総合防災訓練」に参加しました。

小国町による初動体制訓練、地域住民の皆さんも参加する自主的防災活動の訓練などが行われる中、当事務所では土石流模型実験装置、降雨体験装置の実演、土砂災害に関連するパネル展示を行いました。

土石流模型実験装置では、砂防堰堤の有無によって土石流による被害を少なくすることを、ご来場のみなさんにご理解いただけました。また、降雨体験装置では過去の災害時の大雨を体験していただきました。

パネル展示では、昭和42年の羽越水害当時と現在の写真の比較や、全国で発生している土砂災害の実態、今年発生した熊本地震、台風10号による土砂災害の発生状況などをご紹介しました。特に羽越水害当時の写真には多くの方から興味を持っていただき、アンケートでは「パネルがとても分かりやすかった。災害についてもっと深く関心を持つことが大切だと感じた。」という意見もいただきました。

来年、羽越水害から50年を迎える一方で、全国各地で土砂災害が多く発生しています。過去の災害の教訓を風化させることなく、土砂災害などの自然災害からどうやっていのちと生活を守っていくかを考え、今回のイベント等をきっかけに、土砂災害への関心を持っていただき、日々の防災への意識も一層、高めていただけたらと思います。



土砂災害に関連するパネルの展示



土石流模型実験装置の実演



降雨体験装置での過去の災害の降雨体験



羽越水害50年記念事業の紹介パネル

